

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月31日

上場会社名 株式会社篠崎屋 上場取引所 東
 コード番号 2926 URL http://www.shinozakiya.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関根 雅之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループ長兼経営 企画部長兼IR室長 (氏名) 矢立 実 TEL 048-970-4949
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

(1) 経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	2,512	9.1	105	17.9	107	15.7	96	60.3
2025年9月期第3四半期	2,303	5.8	89	142.3	92	134.8	60	173.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	6.85	—
2025年9月期第3四半期	4.27	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	1,511	1,145	75.8
2025年9月期	1,364	1,048	76.8

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 1,145百万円 2025年9月期 1,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、通期につきましては第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をまいります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	14,157,780株	2025年9月期	14,157,780株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	一株	2025年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	14,157,780株	2025年9月期3Q	14,157,720株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績見通し等の前提となる仮定及び業績見通し等のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ、「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社は、消費者にとって価値のある商品づくり、人づくり、店づくりを目指し、「よりいいものをより安く」提供し、「三代目茂蔵」のブランド力を強化・確立することで、売上高及び利益の向上を図ってまいります。

当第3四半期累計期間において、商品につきましては、引き続き「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」を強化し、物価高騰の今後の対策として、顧客単価の向上を第一に取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間の売上高は2,512,104千円（前年同期比9.1%増）、営業利益は105,101千円（前年同期比17.9%増）、経常利益は107,339千円（前年同期比15.7%増）、四半期純利益は96,988千円（前年同期比60.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(小売事業)

当セグメントにおいては「よりいいものをより安く」をコンセプトに「三代目茂蔵」ブランドのクオリティ向上を推し進めております。当第3四半期累計期間におきましては、引き続き「健康」をキーワードに「茂蔵オリジナル商品」の開発強化をすすめ健康ブランド向上に努めました。具体的には弁当類・菓子類等を中心に店頭商品を最重要商品と位置づけてまいりました。店舗につきましては、リモート会議にて販売スタッフとの情報共有を徹底することにより1店舗あたりの生産性向上を目指しました。これらにより1店舗平均の顧客数は前年同期比102.6%となりました。

また、今期より注力しております常設店舗をもたずに茂蔵を定期的に体験できる「リアル無店舗販売」をコンセプトとしたポップアップストアでは、新規出店の実績も好調であり、継続案件として増収増益に寄与し、売上高は前年同期比188.6%となりました。

以上の結果、小売事業の売上高は2,274,026千円（前年同期比10.9%増）となりました。セグメント利益（営業利益）につきましては、顧客数の増減を慎重に判断しながら販売価格を見直した結果、売上高の増加及び、売上総利益率が改善したことにより201,226千円（前年同期比4.2%増）となりました。

(その他事業)

その他事業は、小売加盟店及び業務用得意先への卸売事業並びに通販事業であります。

その他事業の売上高は238,077千円（前年同期比5.5%減）、セグメント利益（営業利益）は15,440千円（前年同期比2.3%増）となりました。

なお、当第3四半期累計期間の出店状況は、次のとおりであります。

(単位：店)

		前事業年度末 店舗数	増加	減少	当第3四半期末 店舗数
小売事業	「三代目茂蔵」(直営店)	30	—	—	30
その他事業	「三代目茂蔵」(加盟店)	389	17	22	384
合計		419	17	22	414

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末と比較して146,599千円増加し1,511,359千円となりました。主な要因は、長期未収入金が19,153千円、建物が5,018千円等減少したものの、現金及び預金が148,022千円、商品及び製品が12,748千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末と比較して49,610千円増加し365,661千円となりました。主な要因は、買掛金が57,194千円、未払費用が4,183千円増加し、未払法人税等が12,433千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末と比較して96,988千円増加し1,145,698千円となりました。これは減資により資本金を900,000千円減少させ資本剰余金へ振替したこと、剰余金の処分として資本剰余金を71,630千円減少させ利益剰余金へ振替したこと及び、四半期純利益96,988千円の計上により利益剰余金が168,619千円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、天候等の外部変動要因による業績への影響が大きく、予測が困難なため現時点での予想の開示は行っておりません。

なお、情報開示につきましては既存店等の情報を月次で開示するとともに、通期につきましては第4四半期中を目処に、分かり次第、速やかに適時開示をしてまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	609,657	757,679
売掛金及び契約資産	62,905	64,506
商品及び製品	46,715	59,464
原材料及び貯蔵品	2,757	3,490
その他	68,458	70,594
貸倒引当金	△40	△40
流動資産合計	790,454	955,695
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	29,227	24,208
構築物（純額）	2,256	1,833
工具、器具及び備品（純額）	9,820	12,936
土地	189,970	189,970
その他（純額）	918	4,494
有形固定資産合計	232,193	233,443
無形固定資産	2,370	1,621
投資その他の資産		
敷金及び保証金	104,538	104,538
長期未収入金	235,050	215,896
その他	243	243
貸倒引当金	△90	△80
投資その他の資産合計	339,741	320,597
固定資産合計	574,305	555,663
資産合計	1,364,760	1,511,359
負債の部		
流動負債		
買掛金	187,584	244,778
未払金	63,291	63,394
未払費用	37,103	41,287
未払法人税等	20,277	7,844
その他	3,093	3,756
流動負債合計	311,350	361,061
固定負債		
長期預り保証金	4,700	4,600
固定負債合計	4,700	4,600
負債合計	316,050	365,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	100,000
資本剰余金	120,340	948,709
利益剰余金	△71,630	96,988
株主資本合計	1,048,709	1,145,698
純資産合計	1,048,709	1,145,698
負債純資産合計	1,364,760	1,511,359

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,303,278	2,512,104
売上原価	1,590,007	1,726,703
売上総利益	713,271	785,400
販売費及び一般管理費	624,097	680,299
営業利益	89,174	105,101
営業外収益		
受取利息	3,085	3,242
受取賃貸料	7,366	5,874
その他	464	215
営業外収益合計	10,916	9,331
営業外費用		
賃貸費用	7,290	7,086
その他	0	7
営業外費用合計	7,291	7,093
経常利益	92,798	107,339
特別利益		
固定資産売却益	—	1,598
その他	—	10
特別利益合計	—	1,608
特別損失		
減損損失	9,163	1,022
固定資産除却損	567	1,079
店舗閉鎖損失	2	—
特別損失合計	9,733	2,101
税引前四半期純利益	83,065	106,846
法人税、住民税及び事業税	22,548	9,857
法人税等合計	22,548	9,857
四半期純利益	60,517	96,988

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

株主資本の金額の著しい変動

当社は、2025年12月16日開催の第39期定時株主総会の決議に基づき、2026年1月26日付けで減資の効力が発生し、当第3四半期累計期間において資本金が900,000千円減少、その他資本剰余金が900,000千円増加しております。またその他資本剰余金71,630千円及び、利益準備金17,094千円を繰越利益剰余金に振り替えることで、欠損填補に充当しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において資本金が100,000千円、資本剰余金が948,709千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費及びその他の償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費及びその他の償却費	6,950千円	11,142千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,051,272	252,006	2,303,278	—	2,303,278
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,051,272	252,006	2,303,278	—	2,303,278
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,051,272	252,006	2,303,278	—	2,303,278
セグメント損益	193,037	15,100	208,137	△118,963	89,174

(注) 1. セグメント損益の調整額△118,963千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「小売事業」セグメントにおいて、不採算店舗のうち今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、9,163千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	小売事業	その他事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,274,026	238,077	2,512,104	—	2,512,104
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,274,026	238,077	2,512,104	—	2,512,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,274,026	238,077	2,512,104	—	2,512,104
セグメント損益	201,226	15,440	216,666	△111,565	105,101

(注) 1. セグメント損益の調整額△111,565千円は各報告セグメントには配賦していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「小売事業」セグメントにおいて、不採算店舗のうち今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗について、1,022千円の減損損失を計上しております。